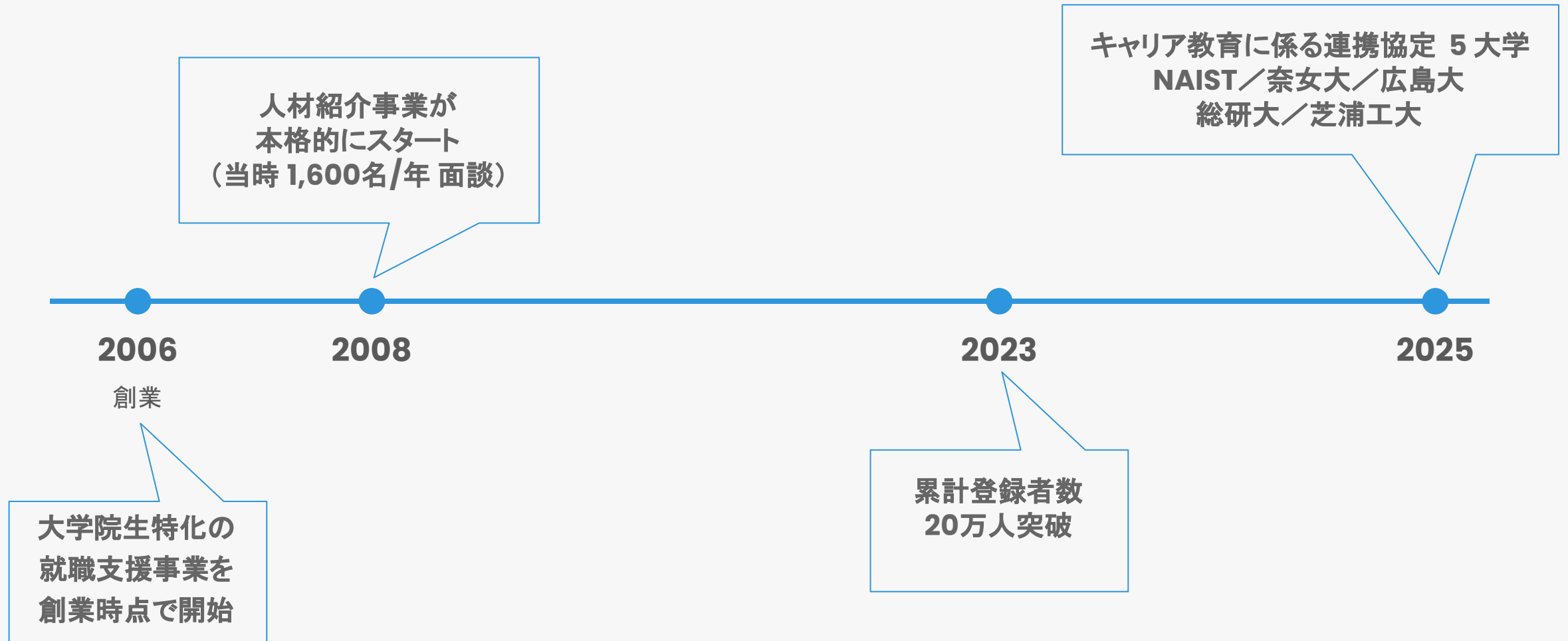


【PEAKS御中】
博士スキルの
可視化システムについて

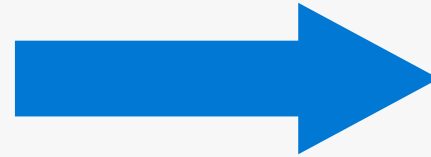


- 0 **Agenda**
- 1 創業Story
- 2 アカリクの歩み
- 3 実績数字
- 4 市場ギャップ
- 5 対話だから掘り出せる“行動証拠”
- 6 AIを使って数分で「見える化」





1,600
2008



6,000
2024



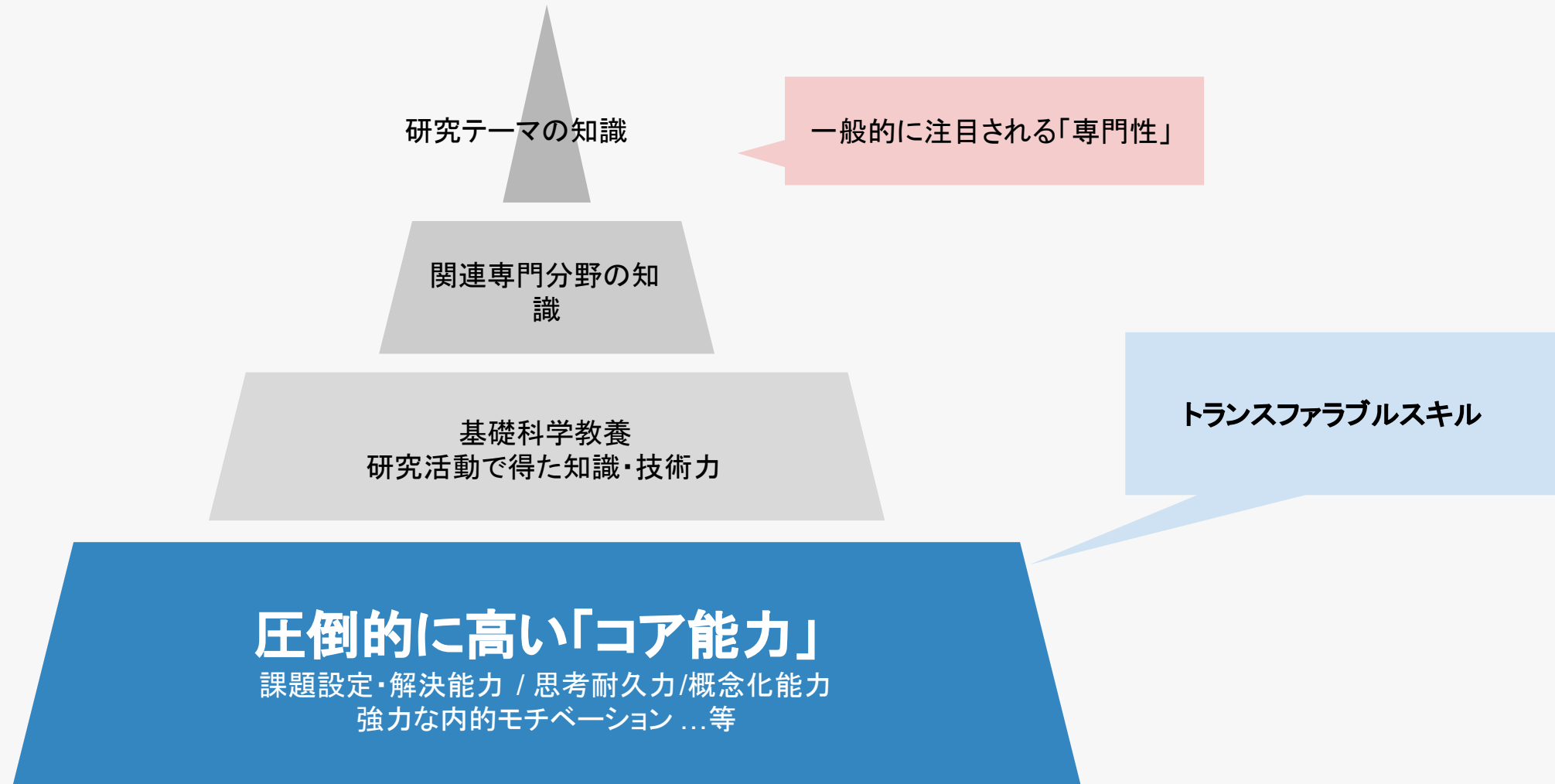
5万件以上
累計面談



4倍
博士イベント



50大学以上
キャリアセミナー



論文／研究業績



キーワード抽出

「ブラックホール観測」「ゲノム編集」などテーマ

自己申告



資格・ツール

Python, Cell Culture, SEM
...

面談 Q&A



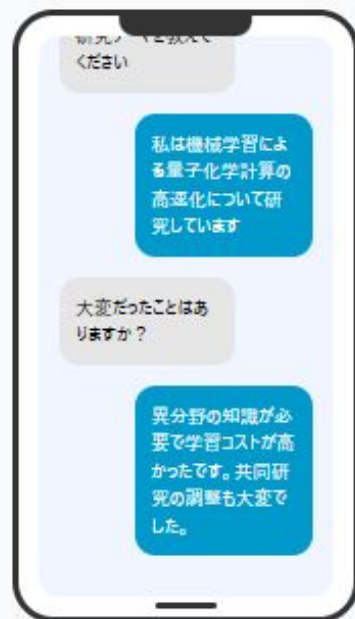
行動エピソード

壁・失敗・説明力を
深掘り



質問例（面談 Q&A）	回答例	評価スキル	バッジ数値
Q1 研究で最大の壁と突破法は？	「検出感度を 100 倍に上げる必要があり、①原因を数式で分解 → ②レーザー波長を変更 → ③3 回実験で再現。」	課題解決力	+ 3
Q2 最近の失敗と、そこから学んだことは？	「細胞コンタミで 回答に合わせてスキル可視化 追跡し、SOP を改訂、チームに周知した。」	レジリエンス（失敗から学ぶ力）	+ 4
Q3 専門外の人に研究を 60 秒で説明して下さい。	「“光でがんを検知する顕微鏡”を開発中です。痛みゼロで早期発見、検診コストが 1/5 に。」	論理的説明力	+ 4

STEP 1



会話形式で研究内容をBotに伝える

STEP 2



研究スキル自動分析

要約：

量子化学計算の高速化に機械学習を適用する研究。特に深層学習モデルを用いた電子密度予測により、従来法より30%計算時間短縮に成功。異分野融合研究のため化学・情報両分野の専門知識が必要。共同研究先との連携でデータセット構築にも取り組んだ。

自動タグ付け：

機械学習 量子化学 学際研究
深層学習 最適化 共同研究

スキル評価：

研究デザイン: ★★★★★ 情報分析: ★★★★★

AI自動要約とスキルタグ生成

STEP 3

トランスファラブルスキルマップ



PDF ダウンロード

Verified Certificate付き

スキルマップ作成とダウンロード

※デモ用ダミーデータ

APPENDIX

MISSION

知恵の流通の 最適化

会社名 株式会社アカリク

創業 2006年11月

資本金 1000万円(資本剰余金を含む5億5000万円)

代表 山田 諒

所在地 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-1-5 青山第一田中ビル2階

許可番号 有料職業紹介事業許可番号:13-ユ-317713

事業内容 採用・キャリア支援事業

- ① 大学院生、院卒社会人のための求人情報サイト「アカリク」の運営
- ② 新卒大学院生(修士/博士)・院卒社会人・ポストドクター・研究者に特化した 人材紹介サービス
- ③ 就職・キャリア構築のための各種イベント・セミナーの企画運営

～2008

「アカリクWEB」開始

のちのスカウトサービス「アカリク」へ

新卒大学院生向け 就職エージェント 提供開始

大学院生の人材紹介サービスを本格的に開始

「アカリクイベント」 事業を開始

エンジニア／データサイエンティスト特化イベントを
業界で初めて開催

2006

創業

博士人材のキャリア
支援事業を開始

2008

京都大学と提携

大学・大学院向けの
キャリア教育を提供開始

2010

京都大学内に オフィス設置

吉田キャンパス内に
オフィスを設置

～2015

「アカリクVALUATOR」 がスタート

学業・研究と起業の両立を目指す
スタートアップ支援プロジェクト

Cloud LaTeX誕生

アカリクVALUATORから生まれた
オンラインのLaTeX編集サービス
約13万人の学生・研究者が利用

アイデアソン型の 採用イベント提供開始

のちの「イノベーションサミット」へ

2018

学会と連携しての キャリア講演開始

日本物理学会より招待を受け
キャリア講演を実施

2016

院卒社会人向け 転職エージェント 提供開始

2021

文科省より事業受託

「ジョブ型研究インターンシップ
推進協議会」事務局を受託

2023

「アカリクラウンジ」 提供開始

大学内のキャリアスペースとし
て、全国6大学に展開中

2023

経産省による 勉強会に参画

「博士人材の産業界への入職
経路の多様化に関する勉強
会」に参画

経団連の委員会にて 博士人材の講演

教育・大学改革推進委員会企
画部会にて博士人材採用と活
躍に関して講演

2024

「アカリクギルド」 提供開始

大学院生の知恵を
企業の課題解決へ

2024～

文科省/経産省による 検討会に参画

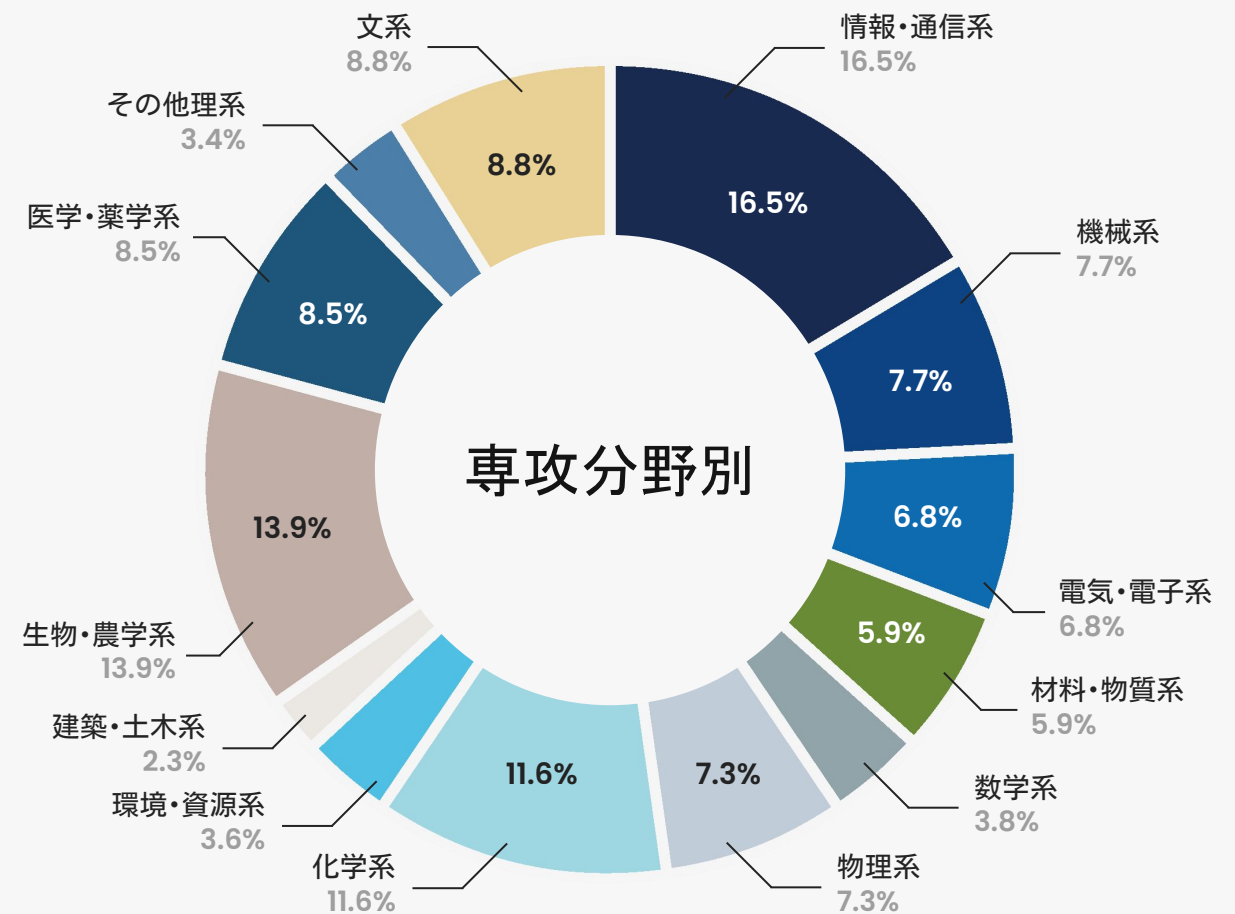
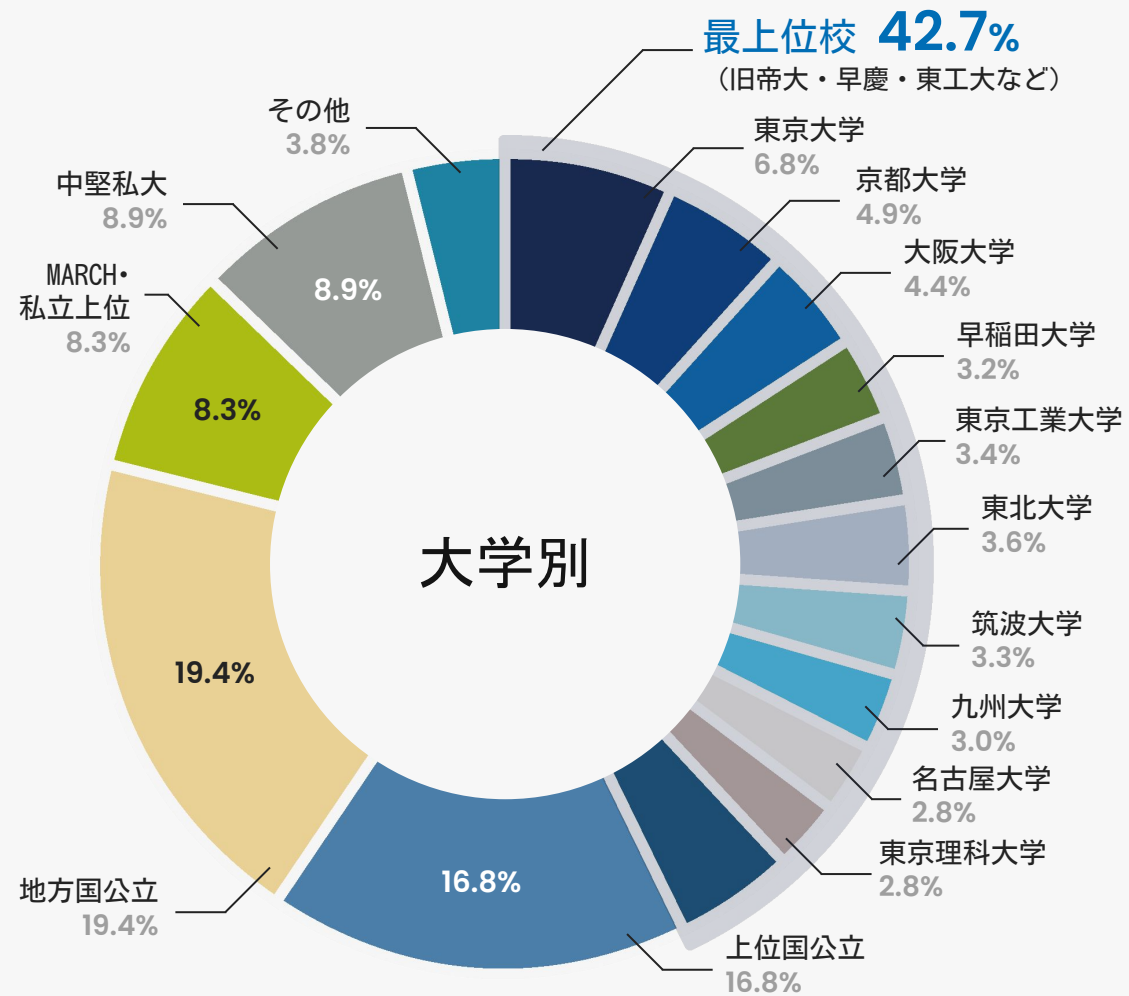
HR企業として唯一「博士人材
の民間企業における活躍促進
に向けた検討会」参画

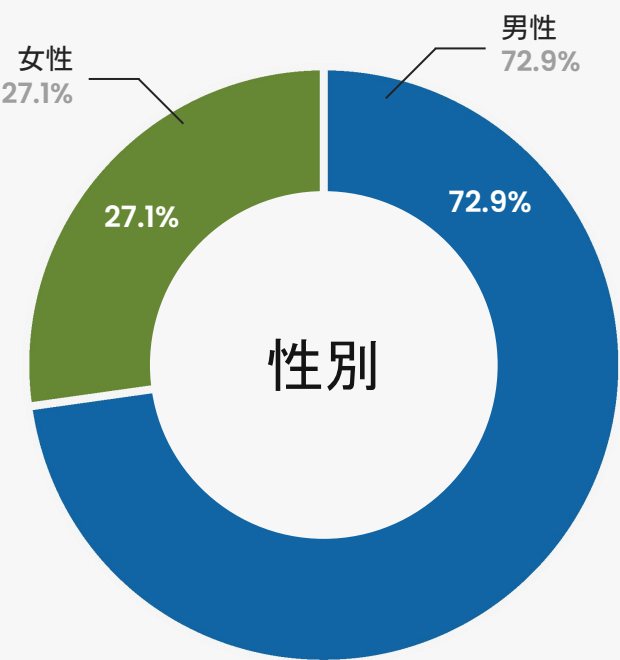
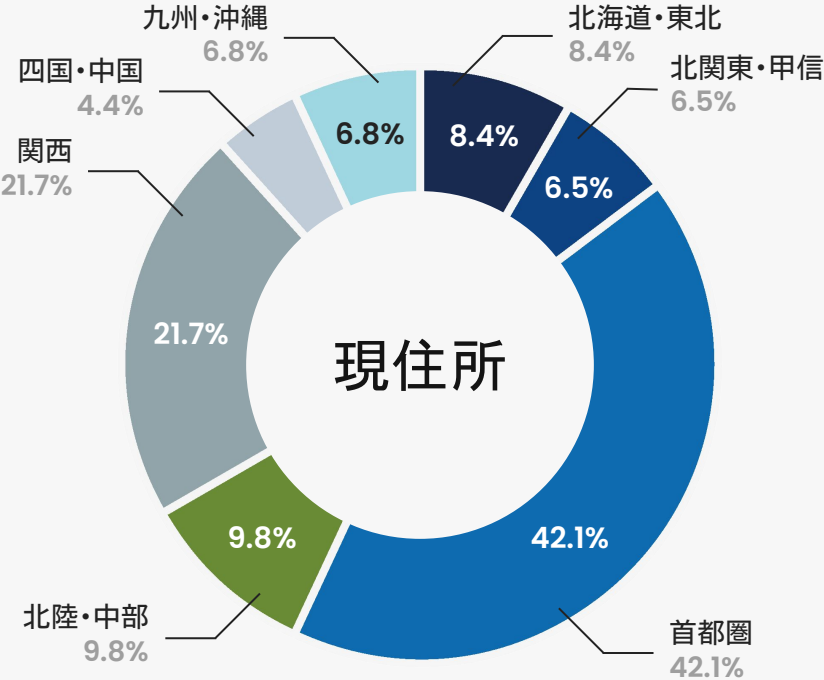
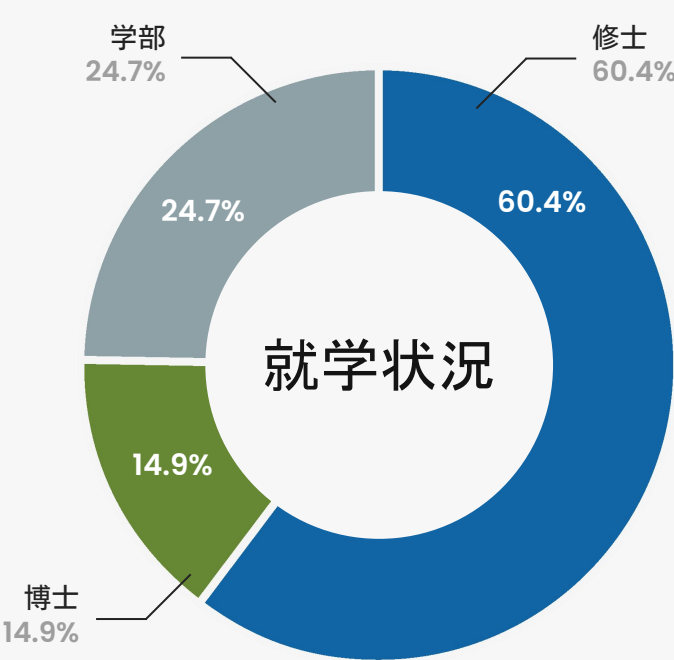
3つの大学/大学院と 連携協定締結

・奈良先端大学院大学
・奈良女子大学
・総合研究大学院大学

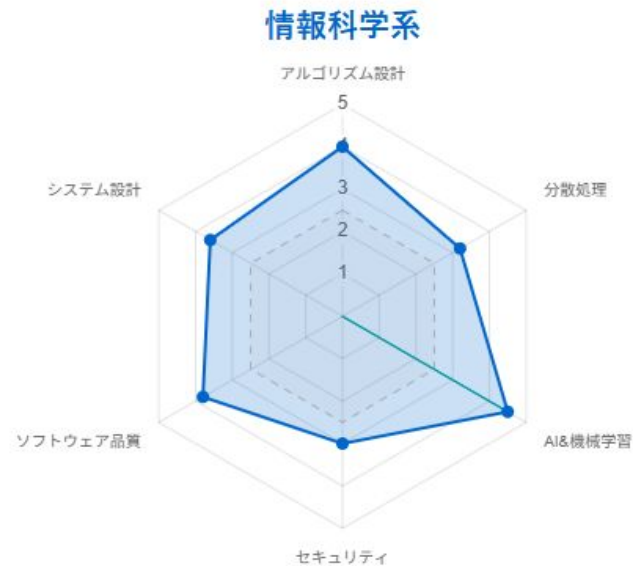
会津大学内に オフィス設置

産学イノベーションセンター内に
オフィス設置

年間利用学生数:約**25,000**名



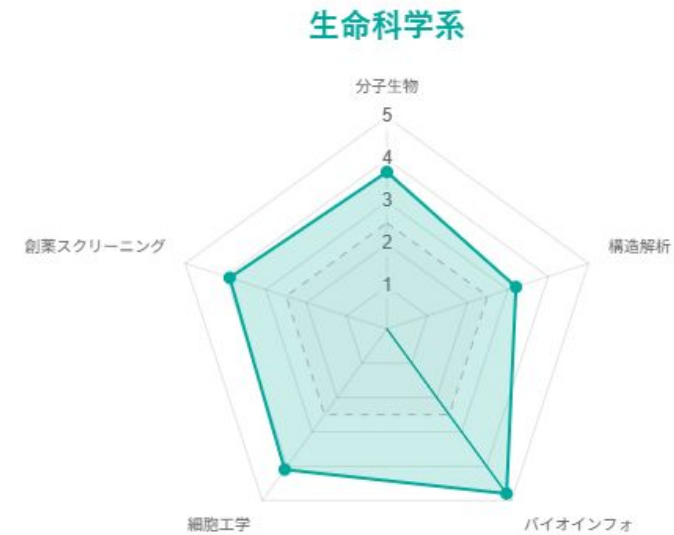
評価軸(L0/L1 クラスタ)	AI-Bot が投げる質問例	学生の想定回答(わかりやすい口語)	スコアロジック & レーダー反映イメージ
ロジカルシンキング(課題分解)	「研究装置のエラー原因が多すぎたので、まず“機械系”“試薬系”“手順”の3つに分けてチェック表を作りました」	「研究装置のエラー原因が多すぎたので、まず“機械系”“試薬系”“手順”の3つに分けてチェック表を作りました」	“要素分解→チェックリスト”キーワードを抽出し Logic 4/5
問題解決／改善	「温度制御がズレたので、センサーを2本に増やし、ログを1分単位で取るようにしました」	「温度制御がズレたので、センサーを2本に増やし、ログを1分単位で取るようにしました」	“原因特定→対策具体化→再試行”パターン検出 → ProblemSolving 3→4
プロジェクト計画	「Googleカレンダーに3色で優先度を付け、朝に“今日必ずやる3件”を付箋で机に貼りました」	「Googleカレンダーに3色で優先度を付け、朝に“今日必ずやる3件”を付箋で机に貼りました」	タスク優先付け＋ツール活用で ProjMgmt 4/5
チーム協働	「2案のメリット表を作って、みんなに★で投票してもらい、上位案＋改善点を合わせる形にしました」	「2案のメリット表を作って、みんなに★で投票してもらい、上位案＋改善点を合わせる形にしました」	ファシリテーション要素 ⇒ Teamwork 3/5＋Facilitation 2/5
リーダーシップ	「後輩2人が置いていかれないよう、毎週15分で進捗と悩みを聞く時間を決めました」	「後輩2人が置いていかれないよう、毎週15分で進捗と悩みを聞く時間を決めました」	“メンバーケア”ワード → Leadership 3/5
対人コミュニケーション	「高校生向けオープンキャンパスで、例え話を混ぜてDNAを“設計図”と説明しました」	「高校生向けオープンキャンパスで、例え話を混ぜてDNAを“設計図”と説明しました」	“専門→日常語変換”検出 → Communication 4/5
データリテラシ	「外れ値を箱ひげ図で見て、サンプル番号と条件を突き合わせます」	「外れ値を箱ひげ図で見て、サンプル番号と条件を突き合わせます」	“統計図×検証手順” → DataAnalysis 3/5
タイムマネジメント	「午前は頭を使う解析、午後はルーチン。休憩タイマーを45分で切っています」	「午前は頭を使う解析、午後はルーチン。休憩タイマーを45分で切っています」	“バイオリズム意識＋ポモドーロ”で TimeManage 4/5
適応力／学習意欲	「まず YouTube の入門動画で概要を掴み、次に lab の先輩に30分相談しました」	「まず YouTube の入門動画で概要を掴み、次に lab の先輩に30分相談しました」	“自己学習→社内リソース活用”パターン → Adaptability 3/5
プレゼンテーション	「5分発表で、スライドは図4枚だけ、原稿は音声読み上げで録音→倍速で聞いて調整しました」	「5分発表で、スライドは図4枚だけ、原稿は音声読み上げで録音→倍速で聞いて調整しました」	“図優先・音声リハ” → Presentation 4/5

**L1クラスタ：**

- アルゴリズム設計
- AI&機械学習
- ソフトウェア品質
- 分散処理
- セキュリティ
- システム設計

L2ドリルダウン例（AI&機械学習クラスタ）：

- Transformer最適化
- LoRA微調整
- 推論トレードオフ設計

**L1クラスタ：**

- 分子生物
- バイオインフォ
- 創薬スクリーニング
- 構造解析
- 細胞工学

L2ドリルダウン例（バイオインフォクラスタ）：

- RNA-seqパイプライン
- 進化系統解析
- 大規模メタゲノム

----- L0共通軸 = 灰点線 ———— L1 = 青実線 ———— L2 = 緑細線

「L1以降は専攻固有 ×3～8クラスタ、L2では数十サブスキル。AI自動質問＋CA対話でないと埋まらない。」



[お問い合わせ]

下記フォームに必要事項をご記入の上お問い合わせください

<https://acaric.co.jp/contact/>

※資料請求はこちら： <https://acaric.jp/biz/>

本資料に記載された内容は資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。株式会社アカリクの許可なく本資料を複製、配布、譲渡することは強く禁じられています。本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権は株式会社アカリクに帰属し、事前に株式会社アカリクの書面による承諾を得ることなく、本資料に修正・加工することは強く禁じられています。